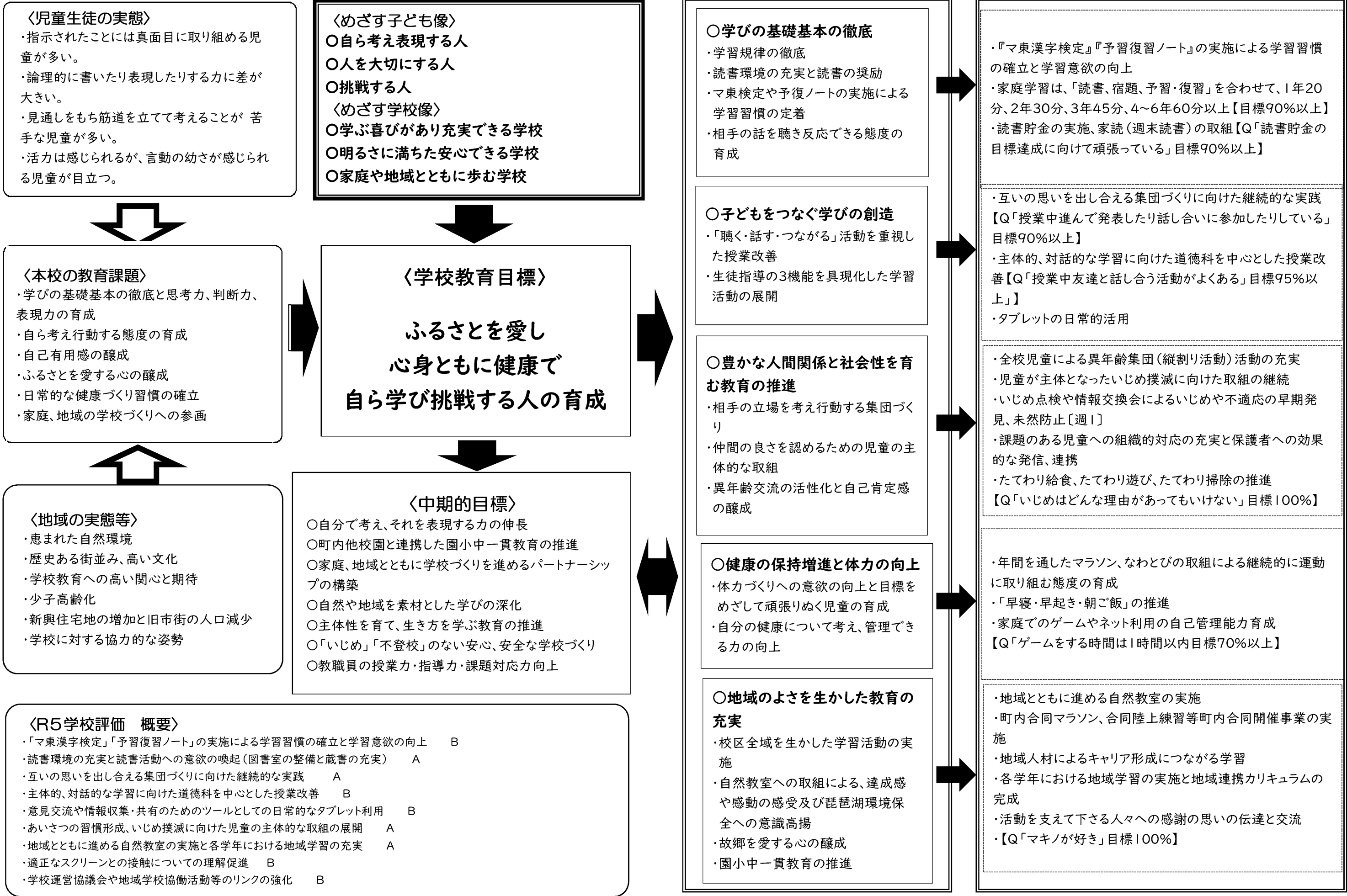


令和6年度 高島市立学校 学校教育到達目標

マキノ東小学校		1
マキノ西小学校		2
マキノ南小学校		3
マキノ中学校		4
今津東小学校		5
今津北小学校		6
今津中学校		7
朽木東小学校		8
朽木西小学校		9
朽木中学校		10
安曇小学校		11
青柳小学校		12
本庄小学校		13
安曇川中学校		14
高島小学校		15
高島中学校		16
新旭南小学校		17
新旭北小学校		18
湖西中学校		19

令和6年度 学校教育到達目標 高島市立マキノ東小学校



令和6年度 学校教育到達目標

高島市立マキノ西小学校

【本年度の指導力点】

【到達目標・数値目標】

〈児童生徒の実態〉

- 勤労意欲が高い
- 素直で元気がよい
- 男女・異学年とも良好な関係が保てる
- よく遊びよく学ぼうとする
- 少人数のため人間関係の固定化傾向
- 家庭学習の習慣化が不十分
- 自己肯定感が不十分

〈めざす子ども像〉

- 明るく ◇あいさつ返事が大きな声のできる子
- ◇自分も他人も大切にできる子
- 元気に ◇心も体も元気でたくましい子
- ◇大きな声で発表ができる子
- 励む子 ◇夢や目標をもち、自ら考えて行動する子
- ◇話を理解して聞くことができる子

〈めざす学校像〉

『地域とともにある学校』
～つながり響き合う教育を実践し、
地域の核となる学校～

〈本校の教育課題〉

- 小規模校の強みの生かし方
- 着実な学力向上・体力向上
- 言語活動の充実コミュニケーション力アップ
- 個別支援指導 障がい者理解教育
- 集団づくりの工夫 人間関係力向上
- 地域に学び、地域で活躍する
- 地域人材とのさらなる連携

〈学校教育目標〉

最高教育理念

自ら鍛え自ら学ぶたくましさ
人や自然と共生する
やさしさをもった人の育成

校訓 明るく 元気に 励む子

〈地域の実態等〉

- 少子高齢、過疎化
- 自然・人材が豊かである
- 農林業・観光地・工業団地
- 温情厚く、家庭的雰囲気の
人々が住む地域である
- 学校・教育への関心高く
期待感あり、協力的である

〈中期的目標〉

- 子どもの姿で勝負するプロ（教職員）
 - ・保護者・地域の期待に応える
 - ・小規模のよさを生かし課題を克服する経営
- 自らの成長を感じ自信が持てる（児童）
 - ・魅力ある楽しい教育活動、体験活動
 - ・集団力、自己肯定感の向上
- 学校・地域と課題と目標を共有する（地域）
 - ・地域の核となる学校づくり

明るい子

- ★仲間づくり・集団づくり
 - ・道徳的実践力・学習規律確立
 - ・絆を深め認め合う集団づくり
 - ・特別活動と縦割活動の工夫
- ★共生する力・生き方学習推進
 - ・マ西地域学習の継承
 - ・地域資源・自然体験活動の充実
 - ・地域人材の教育活動へのさらなる参画
 - ・『夢カード』活用
 - ・園小中一貫教育の推進
- ★特別支援教育・福祉教育推進
 - ・個別支援計画による指導相談
 - ・保護者・専門の関係機関連携
 - ・障がい児(者)理解教育推進

元気な子

- ★体力向上・運動習慣確立
 - ・「健やかタイム」の工夫、充実
- ★生活習慣確立・食育推進
 - ・『早寝・早起き・朝ごはん』
 - ・外遊び30分以上
 - ・ゲーム・ネット1時間以内啓発・ノースクリーンデーの実施
 - ・歯磨指導、歯科受診率の向上
- ★いじめ・不登校ゼロの取組
 - ・報告、連絡、相談、確認、記録の徹底
 - ・道徳教育の充実
 - ・安心できる居場所・集団づくり
 - ・教育相談週間・アンケート活用

励む子

- ★魅力・喜びのある授業の実施
 - ・「わかる」「できる」授業づくり
- ICT活用授業 ○図書室活用授業
- 読解力の向上 ○課題解決的な学習の充実
- 外国語活動・外国語科の充実
- ★主体的・対話的で深い学びへの授業改善、充実
 - ・「マ西漢字チャレンジ」「詩歌チャレンジ」「俳句チャレンジ」の取組
 - ・言語活動の充実
 - ・個別学習支援の工夫 ・朝学習・朝読書の徹底
 - ・家庭学習[10分×学年]以上
 - ・読書の質の向上、家読の推進
 - ・マキノ中学校区における国語科の研究

地域とともにある学校

- ・学校運営協議会の充実
- ・地域学校協働活動の推進
- ・学校からの情報発信の充実

小中一貫教育の推進

- ・中学校区全員研修会への参加
- ・道徳教育と各教科、体験活動との関連

- ・大きく明るい声で挨拶をする子 100%
- ・大きな声で返事をする子 100%
- ・地域に学ぶ体験学習実施 100%
- ・夢志をもつ子(夢カード活用) 100%
- ・はきものそろえを意識する子 100%

- ・全学年で地域素材や人材による学習に取り組む
- ・全学年で『夢カード』の活用
- ・全学年で福祉学習の取組
- ・年に2回教育支援委員会との連携
- ・障がい者理解教育を各学年で1回開催
- ・校内特別支援教育推進委員会を学期に1回開催

- ・外遊び1日30分以上する子 100%
- ・10分間運動に進んで取り組む子 100%
- ・早寝する子 低学年9時 100%
- 中学年9時半 100%
- 高学年10時 100%
- ・ゲームテレビ等2時間以内 100%
- ・朝ごはんを毎日食べる子 100%
- ・歯科受診率 100%
- ・望ましい生活習慣定着に向けた家庭への啓発
- ・毎週定期的に児童の情報交換の機会を持つ
- ・年3回以上のアンケートを実施
- ・学期に1回、教育相談週間の実施

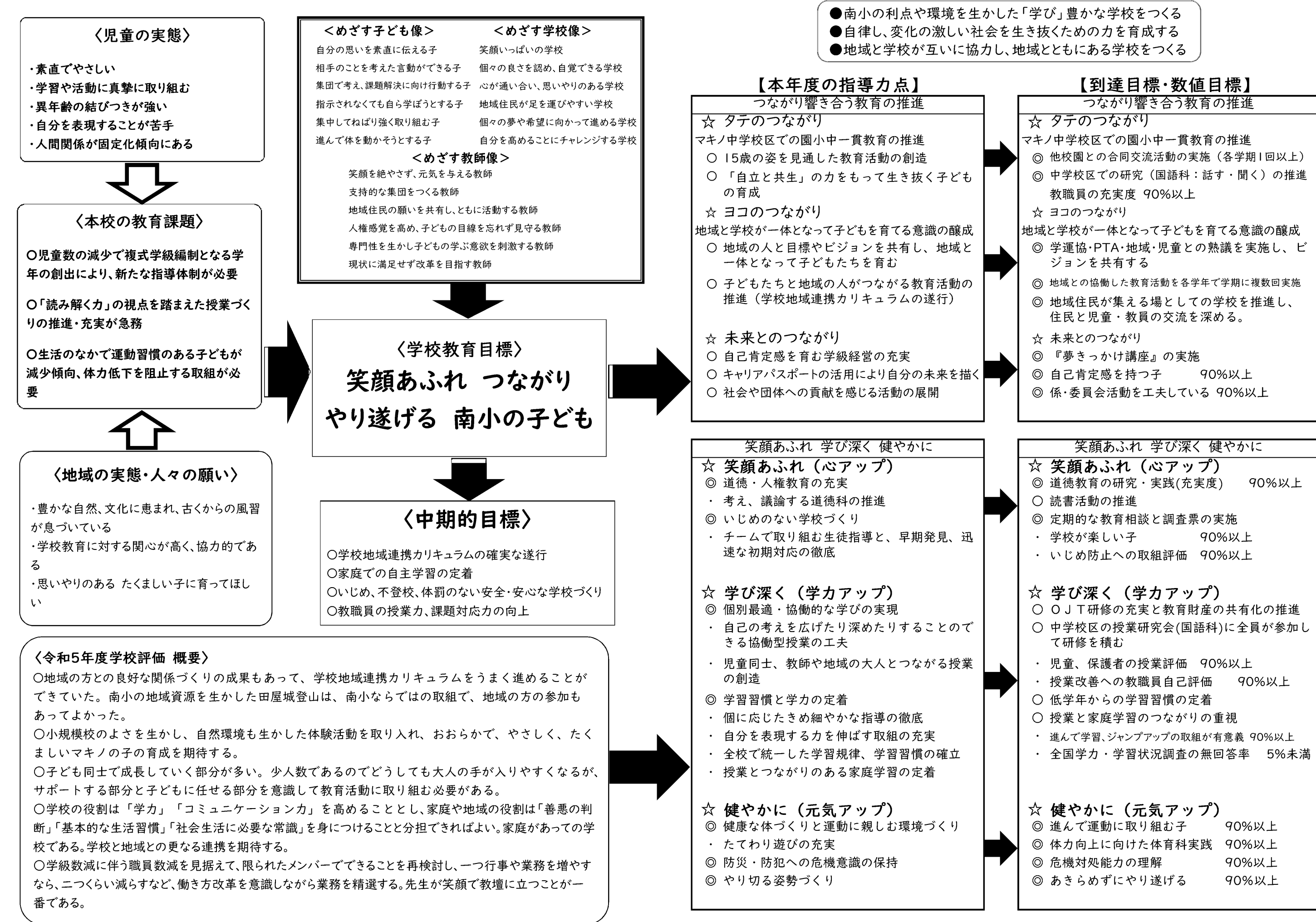
- ・自ら進んで学ぶ子 100%
- ・マ西漢字に取り組む子 100%
- ・詩歌チャレンジに取り組む子 100%
- ・俳句チャレンジに取り組む子(3年生以上) 100%
- ・家庭学習毎日10分×学年以上
- ・家庭学習頑張ろう週間の設定(年間5回)
- ・読書量 1～3年 100冊 4～6年 80冊
- ・「家読」月1回実施(年間10回)
- ・個人用タブレットを活用した授業実践
- ・全学年1回以上の研究授業
- ・「マキノ中学校区版学習スタイル」の定着
- ・マキノ図書館との連携

- ・年間5回の学校運営協議会の開催(担任等との懇談機会の設定)
- ・学校だより(毎月)、学年だよりの発行
- ・ホームページの更新
- ・メール配信による即時の情報発信
- ・中学校区学年部会別授業研究会、全体研究会への参加
- ・「夢カード」の活用

〈令和5年度 学校評価 概要〉

- ・複式学級の運営を心配したが、良い面もあり教職員が一丸となり取り組まれたことがよい。
- ・学校行事やPTA活動などコロナ前の状態に戻ってきた1年であり、子ども達の活動を見れる機会が増えたのでよかった。素直で真面目な子が多いので、長所を伸ばして欲しい。
- ・基本的自尊感情が育つように、少人数だからこそできること生かせることを考えて取り組んでほしい。マキノ西小に通ってよかったと思える子ども達をたくさん増やしてほしい。
- ・交流の機会を持ち、現在の小学生の親の思いや考えを聞きたい。
- ・家庭(親)への手伝いに関した取組を行ってはどうか。親子の絆がよくなると思う。
- ・段々と地域のボランティアの方も増え、地域の方との交流の機会を増やすことに努力いただきありがたかった。また、フォトログイニングでは、PTAの積極的な取組もあり地域のことに理解を深めてもらえる機会が持てたことをとてもうれしく思う。

令和6年度 学校教育到達目標 高島市立マキノ南小学校



<生徒の実態>

- ・誰にも挨拶ができる。
- ・学習、部活動、学校行事に意欲的に取り組み、落ち着いて学校生活を送る生徒が多い。
- ・受け身的であり、周りを見て行動する生徒が多い。
- ・学力差が見られる。

<本校の教育課題>

- 主体的・自主的に活動する生徒の育成
- 読み解く力を踏まえた授業改善
- ・個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・ICT機器を活用した授業の充実
- 地域とともにある学校づくりの活性化

<地域の実態等>

- ・少子高齢地域である。
- ・家族構成等により支援が必要な家庭がある。
- ・PTA活動や学校行事への参加率は高く、協力的である。
- ・地域の方は依頼すれば協力的である。

<令和5年度学校評価の概要>

- ・授業がよくわかる 94% ・授業中に自分の考えが言える 90% ・道徳の授業はためになる 95%
 - ・部活動の充実 86% ・いじめ点検月1回実施 ・地域貢献活動各学年1回以上実施
- (関係者評価) 地域の実態を踏まえた教育カリキュラムを工夫している。園小中・地域との連携がより一層進んだ。子の成長を願い、先生方が一丸となって取り組んでいる。先生方のワークライフバランスを考え、簡略化や精選を図り、子どもと接する時間を大切にしてほしい。

<めざす生徒像>

- 思いやりの心や粘り強さを大切にし、自ら考え、判断し、行動する生徒
- 自他のよさを認め、互いを大切にできる生徒
 - 夢や目標の達成のために、考え努力する生徒
 - 感謝の言葉が素直に言える生徒
 - 地域に自ら役立とうと行動する生徒

<めざす学校像>

- 「チームマキノ」を合言葉に生徒を育てる学校
- 挑戦し、変化を創り出す学校
- 自ら考え判断し行動する力を付ける学校
- 地域とともに教育活動を推進する学校

<学校教育目標等>

品位・気魄・和合

～思いやりの心や粘り強さを大切に
し、自ら考え、判断し、行動する生徒
の育成～

<中期的目標>

- 意欲的に学びに向かう態度の育成
- 自他を大切にする態度の育成
- 自己有用感を高める指導の推進
- 理想の大人として研鑽を積む教職員
- 全教職員で全生徒を育てる組織の充実

<本年度の指導力点>

- 学力の向上
 - ・主体的な学びの確立
 - ・学び合う学習の充実
 - ・言語活動の充実
 - ・基礎基本の徹底
 - ・ICT機器を活用した授業実践
- 豊かな心づくり
 - ・道徳教育の充実
 - ・全校縦割り活動の充実(集団づくり)
 - ・生徒会主体の学校行事の活性化
 - ・生徒指導教育相談の充実
- 健康な心身の育成
 - ・健康な生活リズムの確立
 - ・自己管理の定着
 - ・挨拶運動の充実
 - ・健康に関する授業の充実
- 園小中・保護者・地域とともにある学校の創造
 - ・地域貢献活動の充実
 - ・二者・三者懇談会の充実
 - ・学校運営協議会の充実
 - ・園小中の交流活動の充実

<本年度の到達目標：数値目標等>

- ☐生徒85%以上が「授業がよくわかる」と回答
- ☐生徒85%以上が「やる気をもって授業に取り組んだ」と回答
- ☐生徒85%以上が「自分の考えを伝えたり書いたりした」と回答
- ☐補充学習の実施
- ☐生徒85%以上が「タブレット端末や資料を使ってする授業は楽しい」と回答
- ☐生徒80%以上が「道徳はためになる」と回答
- ☐生徒85%以上が「委員会や班活動に積極的に取り組めた」と回答
- ☐「いじめ点検」を月1回実施
- ☐生徒90%以上が「先生はよく関わってくれる」と回答
- ☐生徒90%以上が「学校に来るのが楽しい」と回答
- ☐生徒85%以上が「時間に余裕をもって登校できた」と回答
- ☐生徒90%以上が「近所の人に挨拶ができる」と回答
- ☐生徒85%以上が「外部指導者からの健康に関する授業は参考になった」と回答
- ☐生徒85%以上が「地域や園小中の交流活動で協力して活動できた」と回答
- ☐地域貢献活動 生徒年間1回以上
- ☐年間2回の保護者懇談会や保護者・生徒アンケートの実施と学校評価結果の公表
- ☐保護者対象「いじめ点検」月1回
- ☐学校運営協議会を通しての地域学校協働活動の実施
- ☐園小中のこども交流 年間3回以上
- ☐合同研究会・研修会の実施

〈児童の実態〉

- 素直で、人なつこい児童が多い。
- 総じて所属意識が高い。
- 読み取る力や伝える力、粘り強く取り組む力に弱さがある。
- 学習意欲に個人差が大きい。
- 個別支援を要する児童が多い。

〈めざす子ども像〉

- かんがえ(知) 学びの楽しさを知り、自ら学びに向かう子の育成
- おもいやり(徳) 自他を愛する豊かな心の育成
- たくましい子(体) 体力や気力、生きる力の育成
- 地域に学び、地域を愛する子の育成(郷土愛)

〈めざす学校像〉

- 地域とともににある学校
- 安全・安心が守られた信頼される学校

〈本校の教育課題〉

- 基礎学力の定着、思考力・表現力の向上
- 人間関係の構築を苦手にする児童への指導・支援
- 通常学級で特別な支援を必要とする児童へのきめ細かな支援
- 多数の不登校傾向児童への、保護者と連携を密にした個に応じた指導・支援

〈学校教育目標〉

ふるさとを愛し、豊かな心を育み、
自ら学び挑戦する子の育成

- ・思いやりのある子
- ・ふかく考える子
- ・強くたくましい子

〈地域の実態等〉

- ・豊かな自然と歴史文化伝統に恵まれた環境を有する。
- ・過疎化の進む地域と新興住宅地があり、価値観は多様である。
- ・少子化の進行に伴う児童数の減少が顕著である。
- ・家庭や地域の教育力は一定保たれつつも、協力の得にくい家庭もある。

〈中期的目標〉

- 言語能力の向上を図り、正しい用語による論理的な表現力の向上
- 成就感・達成感を高める行事の工夫と連帯感・充実感を深める学級づくり
- すこやかタイムの定着と保健安全指導の工夫

学びの楽しさを知り、自ら学びに向かう態度の確立に向けての力点

- ◎学びの意味や多様な学び方の獲得と学習意欲の向上
- ◎ICT教育、個別最適化と協働的な学びの推進(校内研究)
- ◎「読み解く力」の育成と授業改善

自他を愛する豊かな心の醸成への力点

- ◎いのち・人権 合言葉/あ・し・たの3つ・「あいさつ、しんせつ、たいせつ」の実践
- ・校内人権の日(毎月10日)における人権意識を高める活動の推進
- ◎いじめゼロの実践
- ・児童会主体で取り組む「いじめ撲滅」
- ・PTAや地域の団体等と連携した地域ぐるみでの思いやりの心の涵養

体力や気力、生きる力を培うための力点

- ◎規則正しい生活習慣の定着
- ◎体育的行事のほか、外遊びを励行し、健康でたくましい身体づくりの推奨
- ◎体験学習や異年齢集団での学習機会等による、生きる力(生活力・自立する力)の培養

地域とともにある学校

- ◎信頼される学校・期待に応える学校
- ◎学校運営協議会と一体となった学校運営
- ◎地域学校協働活動のさらなる充実
- ・はなまる広場の活動充実
- ◎学校地域連携カリキュラムの実践
- ・住民自治協議会、環境を守る今津の会等との連携

小中一貫教育の推進

- ◎共同授業研究
- ◎学校地域連携カリキュラムの実践
- ・児童生徒の交流活動の充実

かんがえ(知)

- ◎児童の自己評価「勉強がわかり、できる」90%以上、「授業中、自分の考えをよく発表している」70%以上
- ◎「ICTを活用した授業に取り組んでいる」教員の割合100%(前年度95%)
- ◎全教員による「読み解く力」を意識した授業と、協働的な学びにつながる授業づくりの研究(毎学期の研究授業で検証)

おもいやり(徳)

- ◎いのち・人権
- ①「学校に来るのが楽しい」の自己評価85%以上(前年度82%)
- ②各学級で安心ルール決定→全校に発信
- ③校内人権週間・集会の開催
- ◎いじめゼロ
- ①「学校はいじめ問題に誠実に取り組んでいる」の保護者評価80%以上(前年度56%)
- ②児童会主体ですすめる「あいさつ」「いじめ防止」の取組→毎学期実施

たくましい子(体)

- ◎「すこやかタイムをはじめ、学校教育活動全般で体力づくりを図る」の自己評価80%以上。
- ◎「異なる学年の友だちとも仲良く活動できる」児童の割合80%以上

- ◎地域とともにある学校の確立
- ①学運協で経た意見をもとに、全委員が執行者として学校運営に何らかのかかわりを持ち、学校地域連携カリキュラムを推進
- ②はなまる広場との協働活動の拡大・充実
- ◎小中一貫教育
- ①共同授業研究を通しての小中連携した授業づくり(毎学期)
- ②学校地域連携カリキュラムに則った小中児童生徒の交流活動の実施(毎学期)

〈R5学校評価 概要〉

- (児) 学校が楽しい82%、勉強がわかりできる89%、授業中、自分の考えをよく発表61%。
- (教) よくわかる授業95%、ICTを活用した授業95%、読書指導の推進50%。
- (学運協)
- ・ICTを活用することは大切だが、自分の言葉で表現することも大切。自分の言葉で表現する子の育成もすべきである。児童のタブレットの使用状況についても確認が必要である。
- ・あいさつなどの指導は、根気強く続けることが大事で、そうすることによって自然とあいさつする態度を養うことができる。

〈児童生徒の実態〉

- ・明るく元気で、外遊びを好む。
- ・素直で人なつっこく、与えられた課題にはまじめに取り組む。
- ・困難なことに立ち向かおうとする気概にやや欠ける。

〈めざす子ども像〉

- ・基礎基本となる力を持ち、理解力・活用力をのばす子ども
- ・自他を愛する豊かな心を有する子ども
- ・健康でたくましい身体を有する子ども
- ・地域を知り、地域を愛する子ども

〈めざす学校像〉

- ・自ら学び、考え、行動する力を持った子どもを育てる学校
- ・児童の学力向上に努める学校
- ・人権意識を高め、豊かな人間性を育む学校
- ・たくましく生きるための健康な心身を育む学校
- ・地域に開かれ、地域の願いに応える学校

〈本校の教育課題〉

- ・児童が主体的な学びに向かうことができるよう、基礎基本の習得におけた授業づくり
- ・豊かな心と人権意識を高めるための道徳の授業の工夫や学習機会の設定
- ・家庭学習の充実を図るための保護者との協力連携

〈学校教育目標〉

すすんで やさしく たくましく

人を思いやる豊かな心と自ら学ぶ意欲を持ち、ふるさとを愛する心身ともにたくましい子どもの育成

〈中期的目標〉

- ・学力の基礎基本の定着を図り、自分の考えたことを表現につなげる。
- ・行事を通して成就感や自己存在感を深める学級づくり
- ・日頃から健康と体力を高めようとする意欲を育てる保健・安全指導の展開
- ・地域の特色を知り、ふるさとを愛する心情の育成

〈地域の実態等〉

- ・旧川上村を中心とした学区であり、農業により生活を支えてきた地域である。三世代同居の家庭も多く、これまでの伝統を大切にして、地域で学校を支えていこうという風土がある。

〈令和5年度 学校評価 概要〉

- ・少子高齢化が進む地域であるにもかかわらず、コロナ5類移行後、地域に対する学校の門戸は大きく広がってきたと評価できる。これからは、地域の人材も学習の中で大いに活用して、児童の主体的な学びの場を作れるよう、さらなる関係の強化を期待する。コロナ禍後、社会が変化していく中で、どのように学校と家庭が連携していくのか、課題は増えていくと思うが、一つ一つ取組を積み重ねているので、令和5年度の目標は達成できていると評価できる。

学びあう子の育成のための力点

- ◎考えたことを話し合い、言葉を工夫して表現する学習活動の展開
- ◎主体的な学びにつながる、わかる授業の実践
- ◎ICTの活用
 - ・正しい使用方法を理解し、興味関心をもち、思考の深まりにつながる活用方法の工夫
 - ・情報機器を使ってまとめた成果物の発表機会の工夫

豊かな心を育むための力点

- ◎いのち・人権を大切に
 - ・「いのち」の大切さを全教科・領域を通じた指導
 - ・学級や縦割り活動における、好ましい人間関係づくり
- ◎いじめをなくそう
 - ・日常生活の中で、「楽しい学校」について考えさせる。
 - ・人権集会を契機として自分たちからいじめをしない環境づくり

健やかなからだづくりのための力点

- ◎体を動かすこと・外遊びの奨励と環境整備
- ◎体力づくりの推進
 - 自らの健康に関心を持ち、健康な毎日を送るための保健指導を推進

地域とともにある学校

- ◎地域教材の効果的活用と、地域人材から学ぶ場を創出する。
- 小中一貫教育の推進
 - ◎発達段階に応じた学習規範の推進
 - ◎小中教員による授業づくり
 - ◎学校地域連携カリキュラムの深化と実証

学びあう子の育成

- ・「意欲をもって楽しく授業が受けられる」と回答する児童・・・80%以上
- ・家庭学習時間の定着化
 - 20分（1，2年）10分×学年（3年以上）
- ・話し合いを取り入れた学習活動
 - 主体的・対話的で、深い学びの実現
 - 各教科で単元のまとめ等で随時実施
- ◎ICTを使った学習活動
 - ・タブレットの効果的な使い方について各教科の学習活動を通じて進める。

思いやりの心・豊かな心を育む

- ◎いのち・人権・思いやり
 - ①やさしい言葉をかけられた経験 85%以上
- ◎いじめのない学校づくり
 - ①学校が楽しいと回答できる児童 90%以上
 - ②場にあったあいさつがしっかりとできる。 85%以上

健やかな体

- ◎児童の体力向上への意欲を高める授業づくりや運動環境の工夫
 - ①外遊びをする子 80%以上
 - ②運動が好きと答える児童 80%以上
- ・児童会企画（大玉送り大会やなわとび大会やマラソントイムで体力増進の機会を設定
- ・朝食指導、メディアコントロールの取組

学校運営協議会

- ・学校と地域がつながる機会や方法について協議し、地域に開かれた学校づくりに努める。
- 小中合同による授業づくり
 - ・共同授業研究を機会として、学区内の児童生徒の学力状況の把握や授業改善の推進
 - ・中学校区で学校地域連携カリキュラムの実証

＜生徒の実態＞

- ・まじめで素直な生徒が多く、挨拶が地域においてもしっかりできる。
- ・生徒同士の仲がよく、協力して物事に取り組める。
- ・学校行事や学友会活動などに主体的に取り組んでいる。
- ・基本的な生活習慣や学習習慣が十分に定着していない。
- ・人間関係づくりが苦手な生徒が増えている。
- ・自尊感情や自己肯定感に乏しい。
- ・個別に支援を要する生徒が増えている。

＜めざす学校像＞

- ・保護者や地域に信頼される学校
- ・明るく前向きに活動し、活力がある学校
- ・互いのよさを認め、高め合い、温かさの感じられる学校

＜めざす生徒像＞

- ・豊かな心を持ち、新しい発想でものごとを考えられる生徒
- ・自ら判断し行動する自律性を身に付けた生徒
- ・相手意識をもって行動できる生徒
- ・あいさつがしっかりできる生徒
- ・確かな学力を身に付けた生徒
- ・夢や生き方を見つけ、目標に向かって粘り強く努力できる生徒

＜本校の教育課題＞

- ・豊かな心と感性の育成
- ・確かな学力の定着
- ・相手意識の向上
- ・個に応じた教育の推進
- ・キャリア教育の推進
- ・安心、安全な学校づくり
- ・保護者と教職員の信頼関係づくり

《校訓》
真理の探究
正義の実践
平和の愛好

《教育目標》
豊かな心（新しい発想をもつ）
自律（自ら考え判断し行動する）
尊重（相手意識をもつ）

＜地域の実態等＞

- ・教育に関心があり、学校に対する期待は大きい。
- ・地域や生徒のためなら労を惜しまない人が多い。
- ・地域の未来を担う中学生を地域で育てようとしている。
- ・保護者へ学校からの情報が伝わりにくい。
- ・家庭の教育力が弱くなりつつある。

＜中期的目標＞

- ・感動や成就感を得られ、豊かな心を育む体験活動を実施する。
- ・特別活動から自ら判断し行動する自律性を向上させる。
- ・相手のことを考えた言動を行い、自分の行動に責任がとれる生徒を育成する。
- ・わかりやすい授業を展開できるよう、教師の授業力を向上させる。
- ・積極的に学ぶ姿勢をもった生徒を育成する。
- ・地域や保護者と協働する「地域とともにある学校づくり」を推進する。

＜令和5年度 学校評価の概要＞

○学力の向上…B *授業を楽しみにしている（生徒73%）
 *学習内容を理解できるように頑張っている（生徒85%）

○豊かな心づくり…B *道徳の授業では自分のことや生き方について考えた（生徒89%）
 *学校行事では周りの人のことを考え行動できた（生徒91%）
 *自分に自信のもてるところがある（生徒69%）

○健康な心身の育成…A *学級は楽しい（生徒81%）掃除を頑張っている（生徒93%）
 *行事や部活動を楽しんでいる（生徒91%）
 *先生に相談できそうな環境である（生徒82%）

○地域連携…B *学校と地域が連携をとり子どもの教育を進めている（保護者66%）
教職員の資質向上 *職員同士で相談や連携を行い校内OJTを推進した（教職員100%）

＜本年度の指導力点＞

○豊かな心づくり

- ・自己肯定感を高める工夫
- ・自律性の向上
- ・道徳教育の充実
- ・キャリア教育の充実
- ・集団の質を高める行事の実施
- ・生徒支援の充実
- ・学友会活動の活性化
- ・教育相談の充実
- ・特別支援教育の推進

○学力向上・学習指導

- ・主体的・対話的で深い学びの授業実践
- ・朝読書の徹底
- ・読書活動の推進
- ・読み解く力の育成
- ・話し合い活動の充実
- ・基礎学力の定着
- ・自己表現力の育成
- ・ICT機器の有効活用
- ・学習規範の徹底
- ・個に応じた学習形態の実践

○健康な心身の育成

- ・基本的生活習慣の徹底
- ・体験活動の充実
- ・部活動の効率化
- ・相手意識をもった言動
- ・社会性の育成
- ・人や地域への感謝する心の育成

○地域連携・教職員の資質向上

- ・生徒の地域活動への参画
- ・地域の教育資源から学ぶ教育の推進
- ・地域とともにある学校づくり
- ・家庭、地域への広報活動
- ・教職員研修の充実
OJT 校内研修

＜本年度の到達目標：数値目標等＞

- ・自分に自信がもてるところがある。生徒75%以上
- ・道徳の授業で自分のことや生き方について考えた。生徒80%以上
- ・キャリアパスポートの活用と各学年講師を招聘した生き方に関する講演会の実施
- ・学友会活動が主体的または協力的に行われている。生徒80%以上
- ・学友会によるいじめ撲滅運動の推進
- ・学校行事では周りの人のことを考え行動できた。生徒80%以上
- ・挨拶がしっかりできる。生徒80%以上
- ・各学期に生徒全員の教育相談を行う。
- ・特別な支援を要する生徒に係る情報交換（月1回）

- ・授業が楽しみな生徒 75%以上
- ・先生は授業を工夫していると感じる。生徒 80%以上
- ・学習を理解できるように頑張っている。生徒 80%以上
- ・朝読書、朝学習にしっかり取り組める。生徒 80%以上
- ・ICTを効果的に活用した授業実践に取り組む。
- ・個に応じた学習形態を工夫し実践する。

- ・4つの行動目標（校歌、挨拶、聞く態度、時間励行）の実践
- ・学友会活動が充実した生徒 80%以上
- ・学校が楽しいと感じる生徒 85%以上
- ・清掃がしっかりできた生徒 85%以上
- ・学校行事や部活動が楽しい。生徒85%以上
- ・先生に相談できそうな雰囲気がある。生徒80%以上

- ・地域協働活動カリキュラムの実践
- ・生徒が地域の活動に積極的に参加する。
- ・サポーター会や各種地域団体との連携
- ・学校運営協議会の推進（年間5回）
- ・学校だよりの発行（月1回）
- ・配信メールによる情報提供（随時）
- ・小中一貫教育における研究授業（年2回）
- ・PTA活動の推進
- ・実態にあわせた教職員研修の充実

令和6年度 学校教育到達目標

高島市立朽木東小学校

<本年度の指導力点>

<本年度の到達目標：数値目標等>

<児童生徒の実態>

- ・明るく素直である
- ・粘り強く努力できる
- ・話す力と聞く力、発展・応用力に課題がある
- ・ネットリテラシー（情報活用能力）の育成が急務

<本校の教育課題>

1. 地域とともにある学校を目指す
学校運営協議会と地域学校協働活動の一体化・地域連携カリキュラムの活用
2. 授業改善・指導力の向上を図る
ICT機器活用・道徳・外国語・キャリア教育・学び合い
3. 人を大切にする力、自分の考えを持つ力、自分を表現する力、チャレンジする力を育成する

<地域の実態等>

- ・過疎化の進行にともない児童数が著しく減少している
- ・地域の教育力は保たれており、家庭・地域とも学校に対して協力的である
- ・バス通学児童が3割強で、行事等日課変更時の下校時刻設定に配慮を要する

<令和5年度学校評価 概要>

- 基礎学力は、少人数であることやICT機器の活用、教職員の努力で、ほぼ定着している。
- 地域の人、もの、ことをこれからも活用し、子どもたちの成長を家庭、学校、地域のみんなで支えていきたい。
- コミュニティスクールの意味を全職員が理解し、活用してほしい。
- 本当に様々な体験や行事があり、地域ボランティアの方もたくさん参加していた。今後も児童数が減少していくことは確実だが、大規模校ではできない朽木らしい学びが引き続きできることを願っている。

<めざす子ども像>

- 自分も友だちも大切にする子
- 心も体も元気でたくましい子
- 自分の思いを豊かに表現できる子

<めざす学校像>

- 互いにつながり 響き合う 温かい学校
- ～児童・保護者・地域から
- 信頼される学校～

<学校教育目標>

- 心身ともにたくましく、
- ふる里を愛する
- 人間性豊かな子どもの育成
- ～自分らしく生きていく力を育む～
- なかよく たっしやで きばる子

<中期的目標>

- ・楽しく明日も来なくなる学校の創造
- ・自律の力、自学自習できる力の育成
- ・児童が学びを実感できる授業の実践
- ・自分の思いを表現する力の育成
- ・豊かな人間関係づくりに向けた実践

(徳) なかよく

- ①仲間・集団づくり
 - ・心に響く道徳授業
 - ・いじめを許さない学校づくり
 - ・共感的人間関係の育成
- ②共生する力・生き方学習継続
 - ・特色ある地域学習の継承発展
 - ・自然体験活動の充実
 - ・他校園との交流活動の実施
 - ★園小中一貫教育の推進
 - 15年間の子どもの育ちを考える
- ③特別支援教育・福祉教育推進
 - ・個別支援計画による指導相談
 - ・障がい児(者)理解教育推進

(体) たっしやで

- ①安全・安心な環境づくり
 - ・健康教育と心のケア
 - ・教育相談週間の計画的実施
 - ・校内外での安全対策の徹底
- ②生活習慣確立・食育推進
 - ・『NO!メディアウィーク』の実施
 - ・保健学習・食育指導の充実
- ③体力向上策の継続
 - ・季節に応じた体力づくり
 - ・体育授業の充実、体育的行事の工夫

(知) きばる

- ①学ぶ力向上のための授業改善
 - ・合同授業研究システム
 - ・教科担任制の実施
 - ・複式解消のための時間割工夫
- ②「学びの保障」に向けた取組
 - ・指導計画見直しと指導法の工夫
 - ・「個別最適な学び」と「協働的・探究的な学び」の実現（タブレット有効活用）
- ③学習規律確立・学習習慣定着
 - ・学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり
 - ・読書活動の充実（学校司書活用）

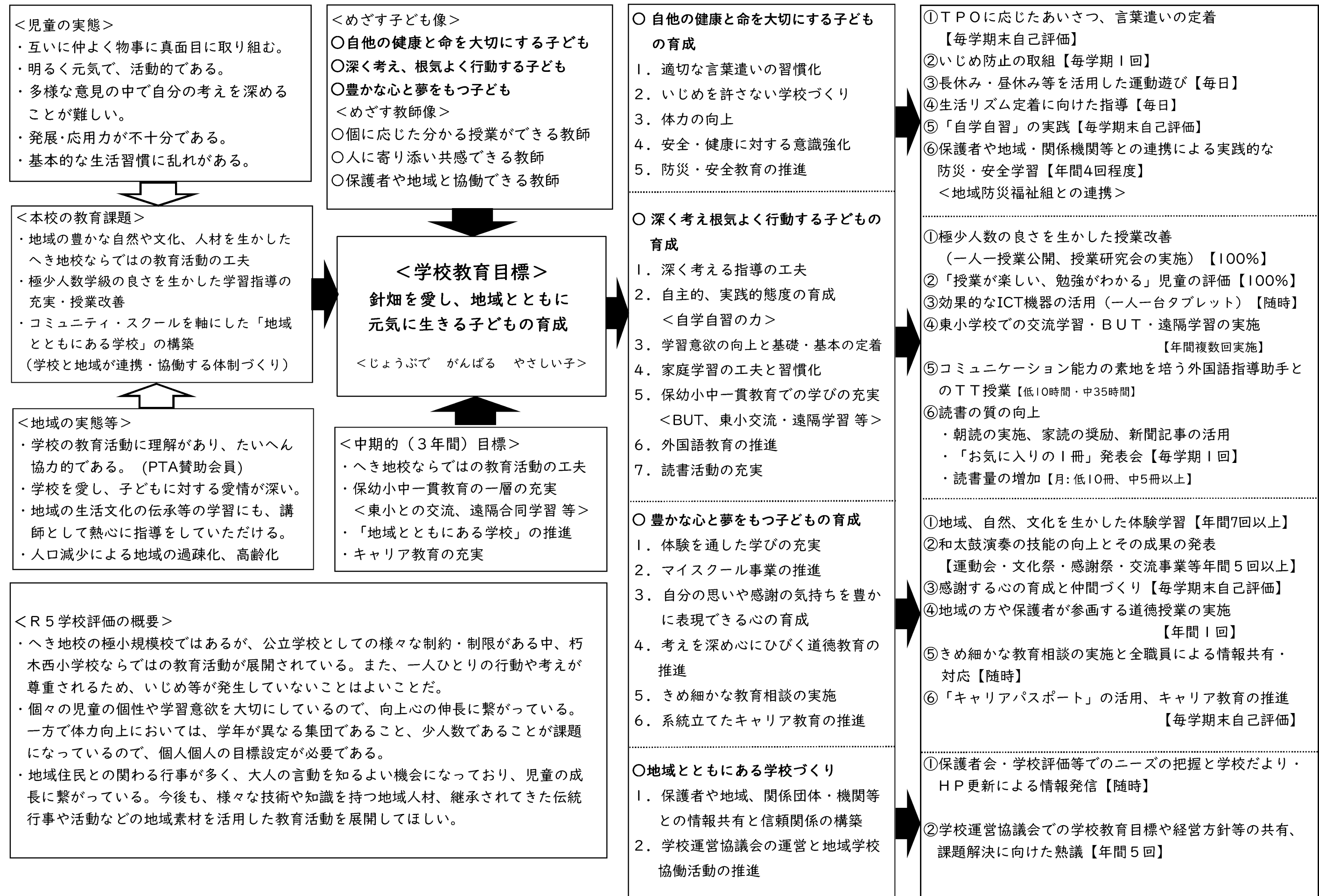
地域とともにある学校

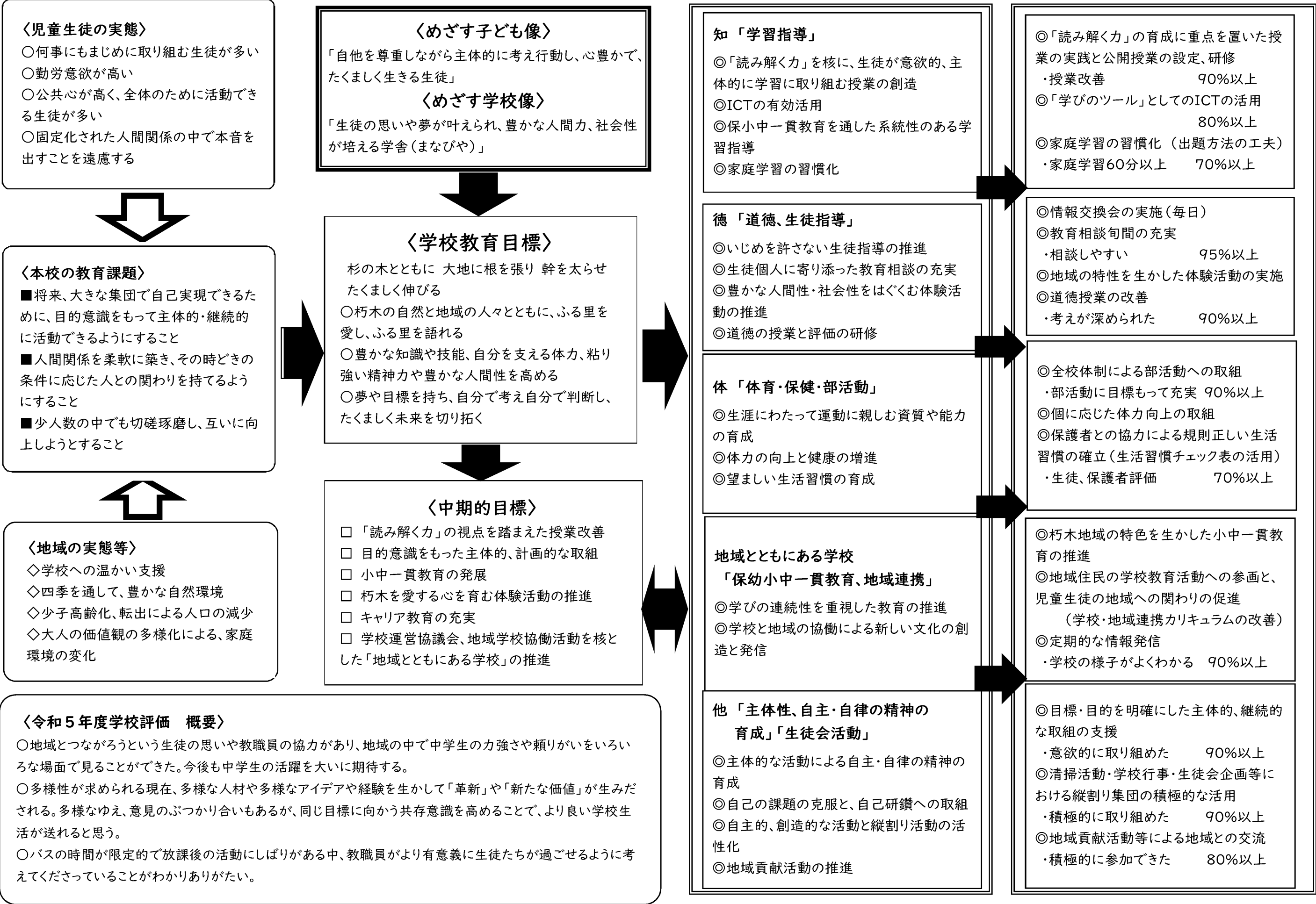
- ・コミュニティ・スクールの推進
- ・学校運営協議会と地域学校協働本部の一体化、地域連携カリキュラムの検証
- ・地域とともに創る教育活動

- ・道徳の授業改善と保護者への公開 90%/年1回
- ・道徳の授業は大事だと答える児童 80%以上
- ・縦割り・児童会活動など仲間づくり 随時
- ・集会等での個人発表 1人1回/年
- ・「命の授業」の計画的実施 偶数学年1回/年
- ・「校内人権の日」の取組 1回/月
- ・稚鮎放流、川に学ぶ学習、町探検、森林体験 各学年
- ・朽木探訪サイクリング 90%以上
- ・園小中一貫教育の推進、交流（教員） 1单元/年
- ・福祉教育計画的実施(社協連携)
- ・「学校が楽しい」と思う児童 100%
- ・調査結果即指導対応ケース会議 随時
- ・小中『NO!メディアウィーク』 毎学期
- ・栄養教諭による各学年食育TT指導 100%
- ・避難訓練の実施 3回/年
- ・『NO!メディアウィーク』の共通実践 100%
- ・栄養教諭による各学年食育TT指導 100%
- ・養護教諭とのTT指導による保健指導 100%
- ・体育的行事の内容工夫、改善 通年
- ・体育的行事と児童会活動とのリンク 随時
- ・できる技を増やそうと頑張る児童（鉄棒、なわとびなど） 100%
- ・「勉強がわかる」と回答する児童 70%以上
- ・園小中での保育・授業交流 随時
- ・BUT小中連携学び合い学習 1回/学期
- ・PDCAによる学ぶ力向上策の推進 毎学期
- ・教科担任制の実施と時間割の工夫 通年
- ・小中合同授業研究会の実施 2回/年
- ・ICTを活用した効果的な学習指導（教員） 90%以上
- ・家庭学習時間10～15分×学年 100%
- ・毎日の朝学習(読書タイム、教科等) 15分/日
- ・「自学自習」できる家庭学習の支援 毎週
- ・朝の読み語り（全校） 毎週
- ・図書サロンの訪問貸し出し 隔週1回
- ・各種広報&学校メール配信・HP更新 随時
- ・『結の会』通信発行・地域メール配信 随時
- ・学運協での課題解決に向けた熟議 5回+α/年

令和6年度 学校教育到達目標

高島市立朽木西小学校





〈児童の実態〉

- ・素直で明るく、活発である。
- ・指示されたことは取り組むが、自主的に行動する力が弱い。
- ・最後まで粘り強く取り組む姿勢に課題がある。



〈本校の教育課題〉

- ・基礎的・基本的な力を身につけ自ら課題を解決する力を育成する。
- ・いじめのない、互いに助け合い励ましあえる学習集団を育成する。
- ・規則正しい生活習慣を確立し、進んで運動に励む子を育成する



〈地域の実態等〉

- ・学校教育活動の推進に、理解と協力がある。
- ・PTA活動や学校行事には、積極的に参加され、協力的である。
- ・学校支援については、必要な時に必要な支援がある。
- ・保護者の価値観の多様化、生活基盤の脆弱化等、子どもに影響している。

【令和5年度学校評価の概要】

- ・（児童） 授業が楽しい、わかる87%、学校が楽しい86%、学校は居心地がよい82%
- ・（教師） ICTの使用を心掛けた 子供が議論したくなる道徳の授業づくりを推進できた学習規律の確立、丁寧な言葉遣い、基礎的な力の定着を今後も目指す
- ・（保護者） 学校に楽しく通っている94%、学校の学習を理解している88%、お便りや連絡文書等で、学校の様子をだいたい把握している92%
- ・（地域） 教職員の働き方、学校の業務の見直しは必要地域から入っていくことが増えている。さらにいろんな人と関わりのある学校づくりを推進して欲しい

〈めざす子ども像〉

- ・互いの違いを認め合いながら、自らの目標をもち、考え、伝え、主体的に行動する子ども

〈めざす学校像〉

- ・生きる力を育む学校
- ・学ぶ楽しさを実感できる学校
- ・安心、安全で居心地のよい学校
- ・地域に信頼される学校

〈学校教育目標〉

「豊かな心と自ら学び考える
意欲をもつ 心身ともに
たくましい安曇っ子の育成」

合言葉

じょうぶで がんばる やさしい子

〈中期的（3年間）目標〉

- ・基礎、基本の確実な習得と、学び合いを活性化し、主体的、対話的で深い学びの創造
- ・読解力等言語力、活用力を高める授業の展開
- ・ICTの活用による、わかる、できる授業の創造
- ・道徳教育の充実で豊かな人間関係を育成し、いじめを絶対に許さない仲間づくりの推進
- ・健康、体力づくりと、豊かな心の育成
- ・小中一貫教育の推進による教育課程や生徒指導面での連携とキャリア教育の一貫した取組
- ・学校運営協議会・地域学校協働活動を核とした地域とともにある学校の推進

〈本年度の指導力点〉

○自ら学び考える教育の創造

- ・魅力ある授業で、基礎的・基本的な学習内容の定着と主体的な学習の推進
- ・1人1台端末を生かした個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・生活科、総合的な学習の時間を基に探究的な学習の推進
- ・読み解く力を育成し、自分の言葉で表現する子の育成
- ・パワーアップタイム等による「書く力」の育成

〔我が校の学ぶ力向上策の実践〕

○豊かな心と良好な人間関係づくり

- ・児童によるいじめ撲滅の啓発活動
- ・言葉遣いや言語環境の整備
- ・ソーシャルスキルとコミュニケーション能力の育成
- ・教育活動全体を通じて、道徳科の充実と藤樹先生の教えに学び実践する心の教育の推進

○たくましい心と体づくり

- ・業間運動、鉄棒や縄跳び、マラソン等の体力づくりの推進と自己の体力の課題改善に向けた取組
- ・食育の推進や早寝早起き等生活リズムの構築
- ・感染症予防と安全対策の徹底

○小中一貫教育の推進

- ・豊かな学びにつなぐ授業研究の充実
- ・一部教科担任制による指導の充実
- ・安心して意欲的に学べる学習環境づくり

○家庭、地域等との連携

- ・学校便り等による保護者、地域への情報発信
- ・学校運営協議会を基軸に地域学校協働活動の推進、学校関り人口の増加、つながり響き合う教育の実践
- ・学校・地域連携カリキュラムの見直し・更新

〈本年度の到達目標：数値目標〉

《自ら学び考える教育の創造》

- ・授業が楽しい、わかる
児童評価 88%以上
- ・相手の話をしっかり聞ける
児童評価 88%以上
- ・自らの課題に主体的に取り組む家庭学習と自主学習の習慣化
- ・パワーアップタイムで「書く力」が身についたと実感する児童評価 90%以上
- ・朝読書等での読書の習慣化
- ・校内研究、校内研修とOJTの推進
- ・発達段階に応じたキャリア教育の推進

《豊かな心と良好な人間関係づくり》

- ・学校に来るのが楽しい
児童評価 90%以上
- ・学校、学級は居心地がよい
児童評価 85%以上
- ・自分も他者も大切にする児童の育成
- ・毎学期、教育相談いじめアンケートの実施
- ・自尊感情を育む、教職員の働きかけ
- ・個別の教育支援計画、合理的配慮に基づく、きめ細かな指導と支援の実践
- ・道徳科を校内研究に全教職員による研究会の実施
- ・縦割り活動による良好な人間関係の育成

《たくましい体と健康づくり》

- ・マラソン週間、鉄棒週間の実施
- ・生活アンケート等による家庭への啓発と規則正しい生活習慣の確立
- ・早寝早起き朝ごはんの生活リズムができている 85%以上

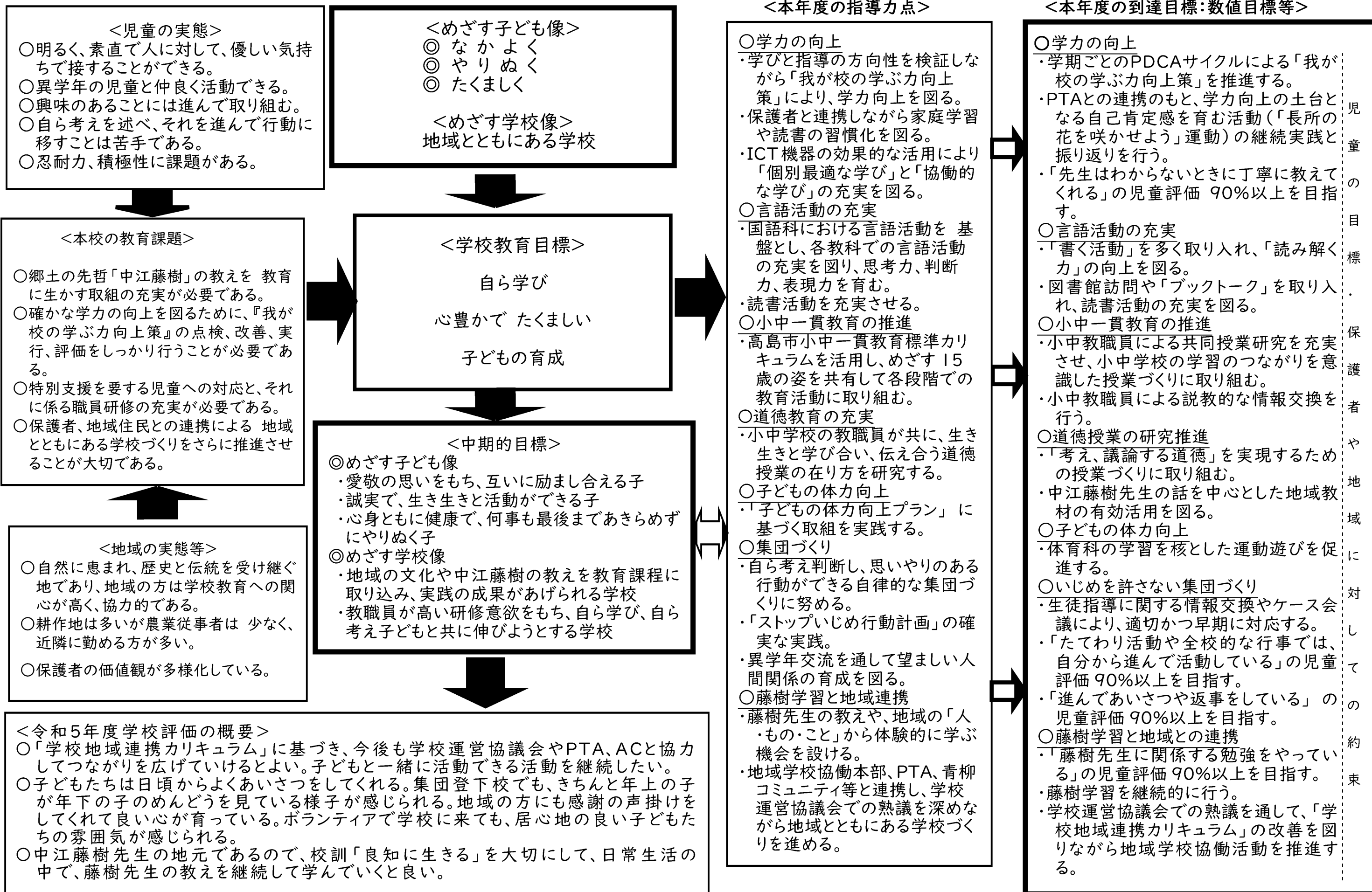
《小中一貫教育の推進》

- ・小中合同学習は、中学校進学への不安解消に役立った 児童評価 95%以上
- ・小中教員による道徳の授業づくりの研究を推進
道徳の授業に自信がある 60%以上

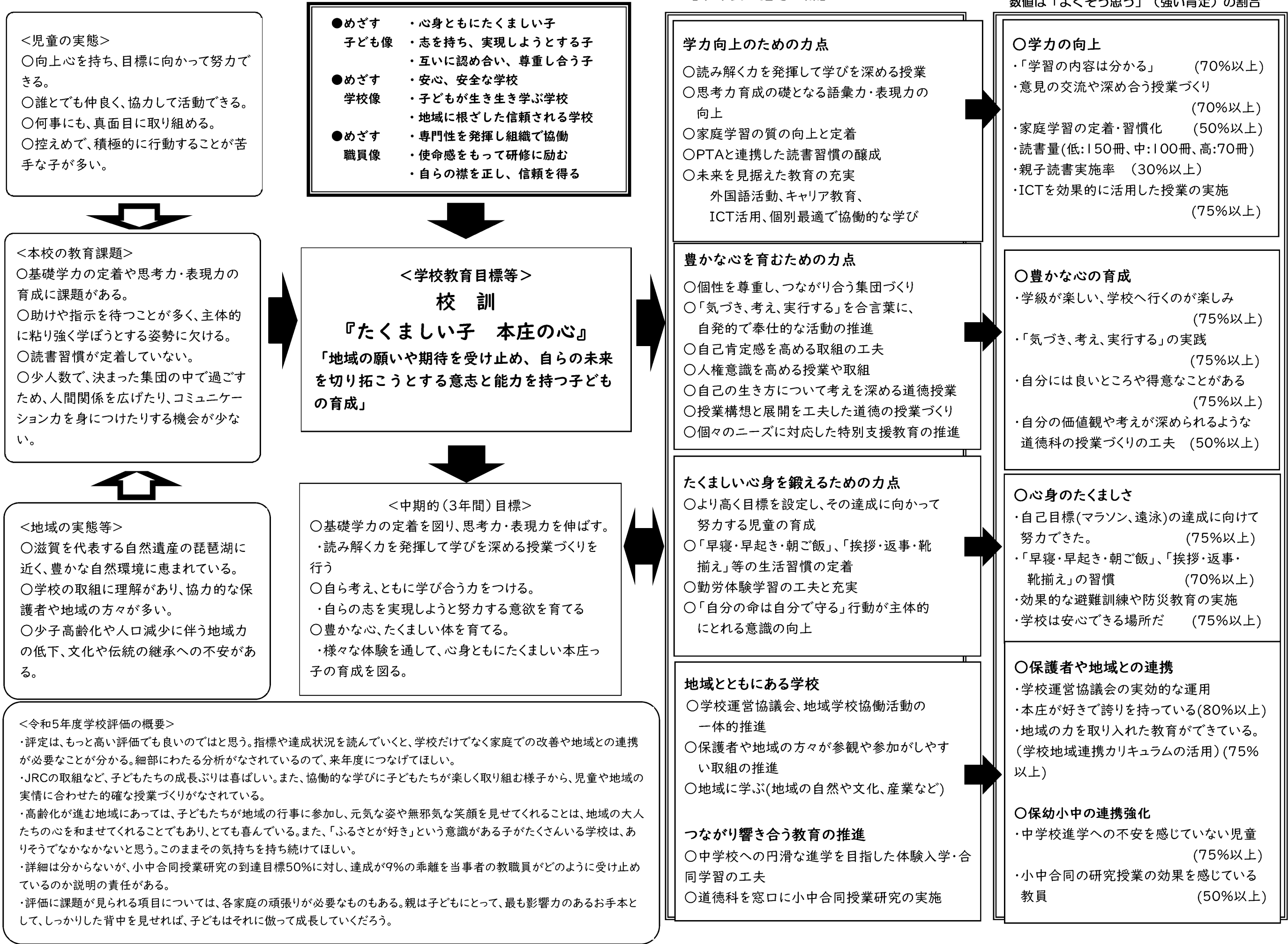
《家庭、地域等との連携》

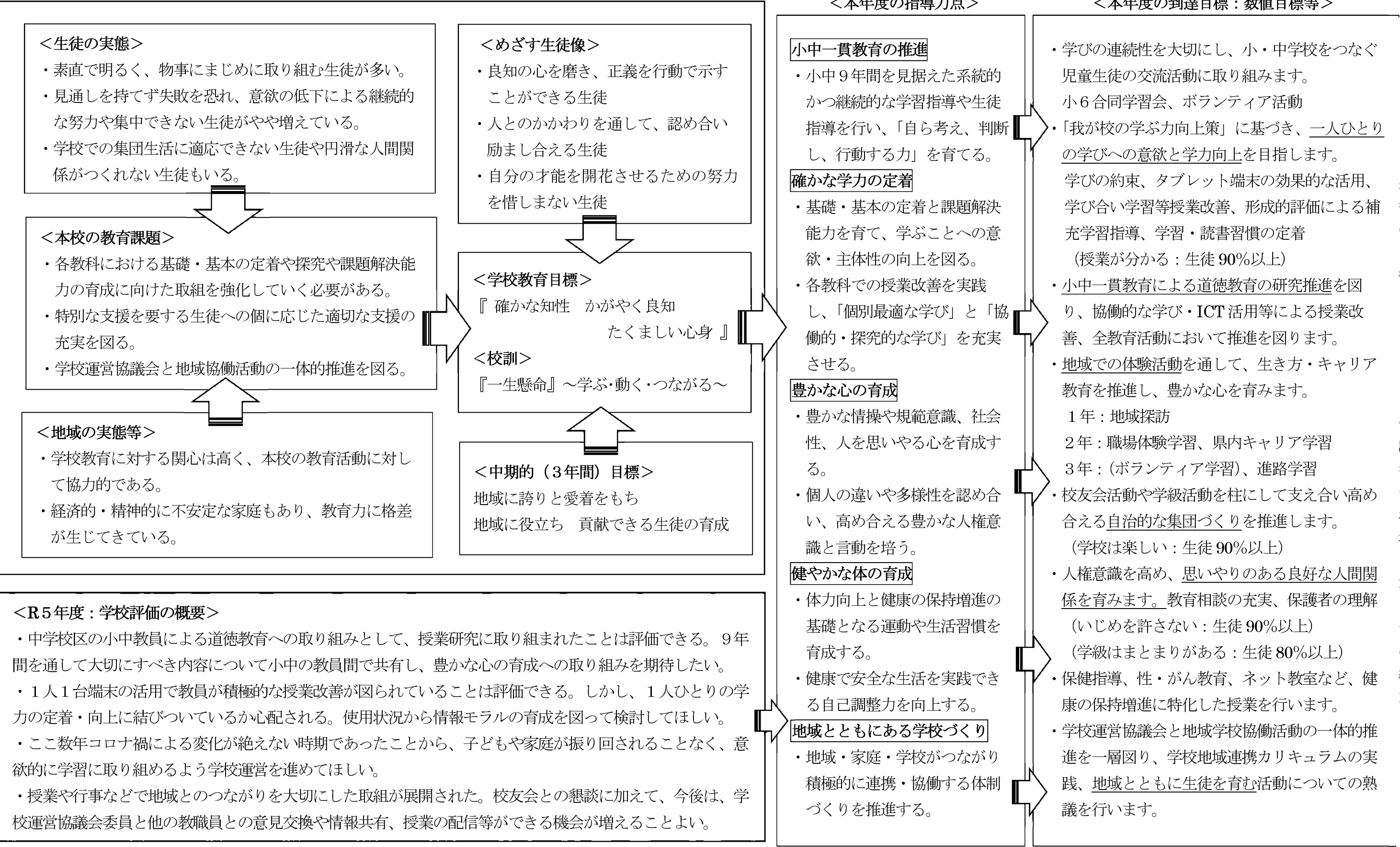
- ・新たな学校支援ボランティアの発掘と組織化
- ・学校関り人口の増加のための取組
- ・学校・地域連携カリキュラムの見直し

令和6年度 学校教育到達目標 高島市立青柳小学校



令和6年度 学校教育到達目標 高島市立本庄小学校





生徒の目標

保護者や地域に対しての約束

令和6年度 学校教育到達目標

高島市立高島小学校

< 児童の実態 >

- ・児童は明るく、真面目で何事にも一生懸命取り組み、校内では活発に遊ぶ姿も見られる。
- ・放課後は学童や習い事で過ごす児童が多く、地域では群れて遊ぶことはほとんどない。
- ・人間関係がこじれたり、偏った見方がされたりすると、その関係は固定化されてしまうことがある。
- ・自分の思いを上手に相手に伝えられなかったり、自分本位な判断をしたりして、望ましい人間関係を築けないといった、個々の課題のある児童もいる。

< 本校の教育課題 >

縦をつなぐ小中一貫教育を通して、自ら学び、正しく判断し、実践できる力と豊かな心を育み、横をつなぐ地域とともにある学校づくりにより、保護者や地域に信頼される学校を創造する。

< 地域の実態等 >

- 山村部と市街商業地域が併存している。新興住宅はあるが、いずれの地域においても人口は減少傾向にある。
- 核家族や両親共働きの家庭が多くなり、かつての三世同居世帯は少なくなっている。
- 保護者・地域住民は、学校教育への関心は高く協力的であるが、互いの関係性は希薄化している。

< 令和5年学校評価 概要 >

- 確かな学力の定着[B]
中学校と一体となって授業研に取り組み指導力向上に努めた。授業がわかる:87%(児)/79%(保)
- 豊かな心の育成[B]
道徳の授業が生活のためになる:92%(児)
縦割りやステージごとの交流活動を充実させることができた。
- 豊かな人間関係を結ぶ力の育成[A]
校内での活動や、中学校との交流活動の幅を広げることができた。学校が楽しい:93%(児)/91%(保)
毎月の人権の日の集会や児童会の取組により人権意識を高めた。学級の友達を大切にしたい:99%(児)
- 健康な心と体の育成[B]
児童に寄り添った学級づくり、教育相談の充実を図った。先生は相談しやすい:83%(児)/79%(保)
- 小中一貫教育の推進[A]
学園研究や交流指導により連携を深めた。89%(教員)

△めざす
子ども像
▽

- たくましく元気な子
- かしい判断ができる子
- しっかり聴いて、よく考える子
- まわりを思いやる子

△めざす
学校像
▽

- 学びを大切にする学校
- 心を磨き高め合う学校
- つながりを大切にする学校
- 地域とともにある学校

< 学校教育目標 >

確かな学力と豊かな心を身につけ、
たくましく未来を拓く子どもの育成
～主体性の育成～

< 中期的【3年間】目標(3年目) >

- 「学ぶ力の向上」をめざし、個別最適な学びと協働的・探究的な学びを実現する授業改善を進める。
- 義務教育9年間の学びの土台となる基礎基本の習得を徹底し、主体的な学び方を身につける。
- 児童理解を深め、自主的体験的な活動を重視し、人間的ふれあいを基調にした教育活動を進める。
- 多くの人との関りを通して、自分の個性や可能性を信じ、よりよく生きようとする「志の教育」を進める。
- 家庭・地域との連携を密にし、開かれた学校づくりに努める。

【本年度の指導力点】

【確かな学力のための力点】

- 子どもを真ん中においた個別最適な学びと、協働的な学びになる授業改善
- 読書活動の活性化
- 特別支援教育の充実
- 自主学習の習慣を確立

【豊かな心の育成のための力点】

- 自分事として生き方を見つめる道徳教育の推進
- 望ましい人間関係を土台にした生徒指導の推進
- 主体性を引き出す児童活動の推進

【豊かな人間関係を結ぶ力を育成するための力点】

- 相手の立場を尊重し、人権意識の高い、いじめを許さない集団づくり
- 礼儀正しい節度ある生活態度(あいさつ、時間を守る、掃除)の育成

【健康な心と体の育成のための力点】

- 児童理解を土台にして、自己指導力の向上をめざす生徒指導の推進
- 命を大切に、健康で安全な生活実現を目指し、行動できる資質能力の育成
- 基本的生活習慣の確立

【小中一貫教育推進のための力点】

- 学園授業研究会の充実
- 小中教員の交流指導による連続した指導の充実

【地域とともにある学校づくりのための力点】

- 学校運営協議会と地域学校協働活動の連携、一体化
- 協働して地域全体で子どもの成長を支える風土の醸成

【到達目標・数値目標】

- ・中学校と一体となって授業研究やOJTに取り組み、思いを深め、達成感のある学びを実現する指導力の向上に取り組む。【月1回のOJTの実施100%(教師)】
- ・朝読書の充実や、読書環境の整備を進め、読書に親しむ児童を増やす。【読書冊数目標到達70%(児)/50%(保)】
- ・個別の指導支援のための指導力向上に取り組む。【研修会の実施】
- ・ゆめノートを活用した家庭学習の充実に取り組む。【家庭学習の時間を達成した児童が85%以上】

- ・他の教育活動や行事と連携した道徳カリキュラム(別様)を着実に進め、日常に立ち返る道徳教育を進める。
- ・文化芸術や自然体験、栽培活動、多様な人とのふれあいを通して、豊かな情操を養う。
- ・中学校と連携した特別活動の活性化を図り、児童の主体性を引き出す活動に取り組むとともに、望ましいリーダーの育成を図る。【学校生活の楽しさ:80%(児)/75%(保)】

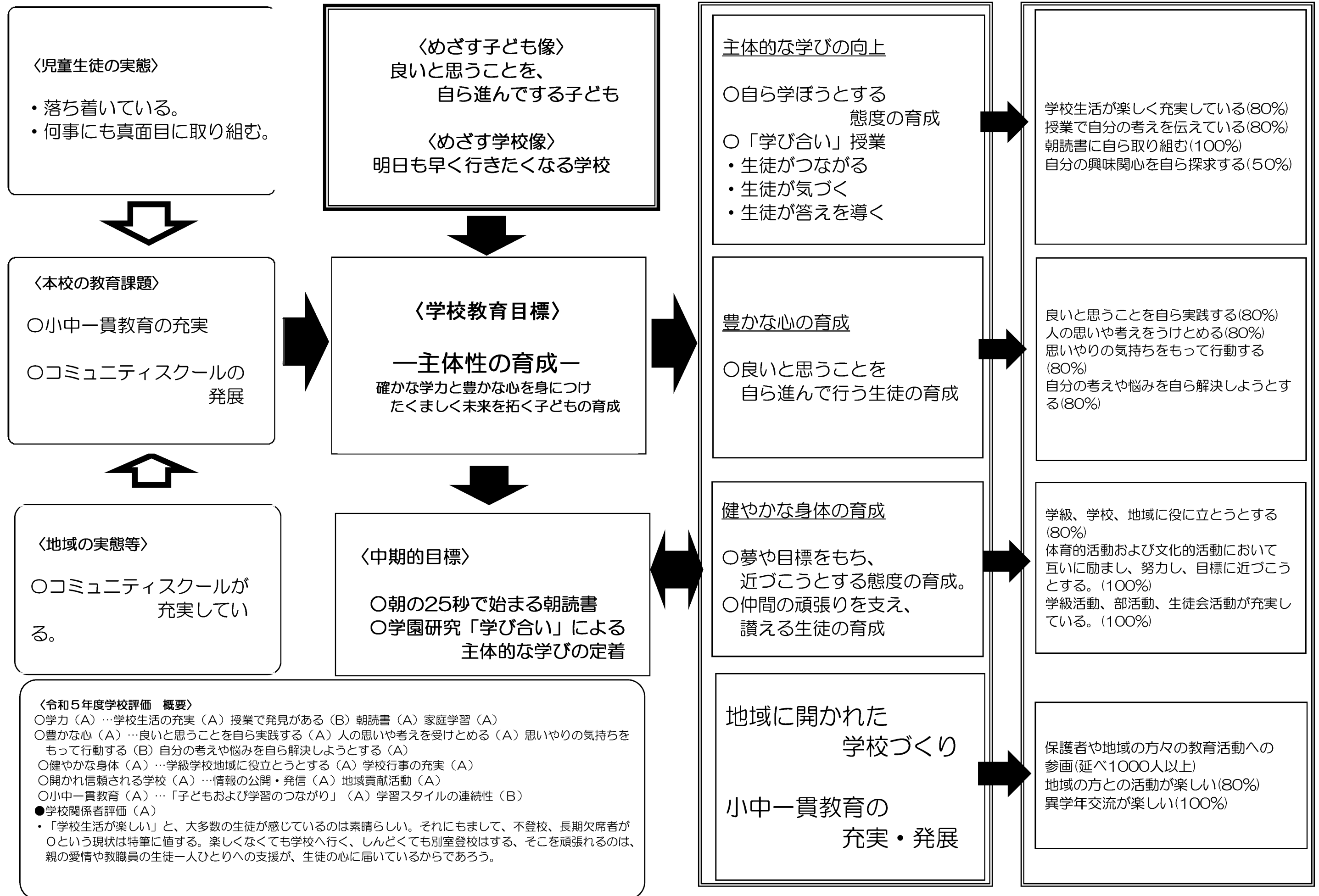
- ・児童集会や行事等を通じて、友達や多様な人々との交流の機会を増やす。【学校生活の楽しさ:80%(児)/75%(保)】
- ・人権意識を高める指導に加えて、中学校と協働した児童生徒の主体的な活動を通して、いじめ未然防止に取り組む。【いじめがなく学校生活が楽しい95%(児)】
- ・真面目で誠実に学校生活を過ごす態度を育成する。【あいさつ、時間、そうじ85%以上(児童)】

- ・生徒指導の3機能を意識した教育活動を展開し、一人ひとりの児童に居場所がある学級づくりを進める。【学校生活の楽しさ:80%(児)/75%(保)】
- ・児童理解のための教育相談の機能を充実する。【困っていることを先生に相談できる85%(児)】
- ・真面目で誠実に学校生活を過ごす態度を育成する。【あいさつ、時間、そうじ85%以上(児童)】
- ・生活状況の把握と望ましい生活習慣の定着に取り組む。

- ・中学校と一体となって授業研究やOJTに取り組み、思いを深め、達成感のある学びを実現する指導力の向上に取り組む。

- ・小中教員の交流授業を進め、小学校の教科担任制と中学校での複数指導の拡充を図る。

- ・学校運営協議会と協働し、学校地域連携カリキュラムによる教育活動を推進する。
- ・PTAと協働し、学習習慣の定着に取り組む。



令和6年度 学校教育到達目標 高島市立新旭南小学校



〈児童の実態〉

- ・素直でやさしい。
- ・学習や活動に真摯に取り組む。
- ・異年齢の結びつきが強い。
- ・気力や自主性がやや乏しい。
- ・学力や体力に二極化の傾向がある。

〈本校の教育課題〉

- ・「適切な言葉遣い」(児)89%(教)63%。意識に差が見られる。「自分からあいさつ」(児)88%(保)64%、言葉の使い分け、登下校時の挨拶に課題
- ・「ふだんから読書」(児)63%(保)40%「読書指導に工夫」(教)71%。全般的に低迷
- ・「総合的な学習：地域の実情を生かし探求的な活動を展開」(教)100%、自主的に課題を作る場を設ける意識づけを継続する。
- ・「早寝早起き朝ご飯リズム」(児)89%(保)80%(教)75%…家庭と学校の意識に差がある。就寝時刻が遅く、朝のスタートが気持ちよく始められない児童も見られる。

〈地域の実態等〉

- ・豊かな自然、文化に恵まれ、古くからの風習が息づいている。
- ・人々は温厚であり、教育に対する関心が高く、協力的である。
- ・地域によって児童数の増減に偏りがある。

〈令和5年度学校評価 概要〉

○登下校の見守りを始め、学校内外の様々な場面で子どもたちの笑顔、素直な反応、そして時には感謝の言葉をもらい、これらが地域住民としての喜びになっている。それと同時に、大人も子どもたちにしっかり反応することが必要だと考える。子どもの良さを見つけ認める行動を返していくべきである。そのような場面を多く生み出すために体験活動は有効に働く。体験によって学び、体験によって交流・コミュニケーションが生まれる。地域住民が子どもたちと、またすべての職員とコミュニケーションを密にすることで、今以上に支援が機能する。

○子どもたちが、相手意識を身に付けられるようになってきたからこそ、学習に地域のヒト・モノを活用することを通して、知・徳・体のあらゆる面を伸ばせる環境を整えていきたい。

〈めざす子ども像〉

相手の立場に立って行動する子
いじめをしない、許さない子
集団で考え、課題解決に向け行動する子
集中してねばり強く取り組む子
進んで体を動かそうとする子
規則正しい生活を送れる子

〈めざす学校像〉

笑顔いっぱいの学校
個々の良さを認め、自覚できる学校
心が通い合い、思いやりのある学校
地域住民が足を運びやすい学校
「チャレンジする意欲」「できる喜び」「高まる自分」が体感できる学校

〈めざす教師像〉

笑顔を絶やさず、元気を与える教師
地域住民の願いを共有し、ともに活動する教師
人権感覚を高め、子どもの目線を忘れず見守る教師
専門性を生かし子どもの学ぶ意欲を刺激する教師
現状に満足せず改革を目指す教師

〈学校教育目標〉

自ら考え 変化に挑む子の育成

“新たな課題に向かい、
アイデアを出し合い、高め合い、
支え合う子ども”

〈中期的目標〉

- ・豊かな人間性、自主性、社会性の育成と学力向上
(生活習慣・学習習慣の確立)
- ・教員の専門性の向上
(ファシリテーション力・探究的授業へ対応)
- ・地域住民とともに意識改革
(地域住民との協働、地域とともにある学校)

つながり響き合う教育の推進

- ☆ **タテのつながり**
湖西中学校区での保幼小中高一貫教育の推進
『学び合い』に視点を当てた授業・保育交流の推進
こども園・中学校との交流活動の充実
- ☆ **ヨコのつながり**
地域学校協働活動の継続・発展
地域と学校が一体となって子どもを育てる意識の醸成
地域住民の学校運営への参画
地域住民の来校促進
- ☆ **未来とのつながり**
将来を見据えた教育活動の展開
キャリアパスポートの活用により自分の未来を描く
社会や団体への貢献を感じる活動の展開

やさしい子 かしい子 強くたくましい子の育成

- ☆ **やさしい子**
思いやりのある、差別やいじめのない学校づくり
基本的な生活習慣・行動様式の定着
子どもが活躍する場、子どもと子どもがつながる場づくり
- ☆ **かしい子**
学習規律を整え、秩序を大切に授業づくり
子どもと子どもをつなぐ、主体的に学び合う言語活動の充実
「読み解く力」を重点においた授業づくり
ICTを活用した学び方改革
- ☆ **強くたくましい子**
遊びを通した仲間づくりと体力づくり
運動能力向上の全校的な取組の推進
「早寝早起き朝ご飯と正しい生活リズム」の推進

つながり響き合う教育の推進

- ☆ **タテのつながり**
「小中一貫教育を有意義に感じ、積極的に取り組んでいる。」および「つながりを意識して自己の授業づくりに取り組んだ」(職員評価)90%
- ☆ **ヨコのつながり**
学校運営協議会・希望の会の活動を理解している。(職員評価)100%
地域住民とともに取り組む協働活動に意義を感じる。(職員評価)100%
地域住民が集える場としての学校を推進し、住民と児童・教員の交流を深める。
- ☆ **未来とのつながり**
キャリア教育の視点を生かす学習・郷土の良さを知る学習(藤本太郎兵衛、針江かばた、熊野本古墳群、清水城)に積極的に取り組む。
たてわり活動は有意義である(児童評価)100%
係・委員会活動を工夫(児童評価)100%

やさしい子 かしい子 強くたくましい子の育成

- ☆ **やさしい子**
読書活動の推進「読書に取り組む」(保護者評価)46%→70%(児童評価)64%→80%
あいさつ運動の推進「時と場に応じた言葉遣いができている」(職員評価)63%→80%
たてわり活動の推進「いじめ・仲間はずれにしない」(児童評価)96%→100%
- ☆ **かしい子**
「学習規律が定着、学習にメリハリがある」(職員評価)80%→90%「授業改善に取り組む」(職員評価)93%→100%
全学級でガッテンプリントを活用する。
タブレット端末を活用した学習をさらに充実させる。
- ☆ **強くたくましい子**
なわとび マラソン等強化月間を継続する。
「早寝早起き朝ご飯」の習慣化(保護者評価)80%→100%
睡眠の重要性、就寝時刻にかかる啓発に取り組む。

